



## 環 境 方 針

大陽日酸 JFP 株式会社は、地球環境保全が人類共通の最重要課題の一つであることを認識し、かつ当社が毒性、可燃性、支燃性、高圧等の危険性の高い特殊ガスを取り扱う会社であることを踏まえ事業活動の「容器詰め半導体材料ガス、標準ガス、純ガス及び混合ガスの製造」による環境へ及ぼす影響を最小限にするために、次に定める項目に基づき環境保全活動を推進する。

1. 環境目的・目標を定め、定期的に見直し、環境パフォーマンスを向上させるための環境マネジメントシステムの継続的改善を図る。環境目的・目標の達成のため、次の項目に努める。
  - ①生産技術能力の向上及び効率的生産活動の推進
  - ②持続可能な資源の利用、地球温暖化への対応、生物多様性及び生態系の保護についての考慮
2. 当社の事業活動における環境側面を常に認識し、環境に関連した「リスク及び機会」をとらえ、かつ環境保全に関する法令、地域協定及び業界自主基準等の順守及び順守評価は最低限の義務とし、環境汚染の予防を推進する。
3. ライフサイクルの視点より、現在の事業活動に伴う環境側面の中で、特に次の項目の継続的改善に努める。
  - ① 資源・エネルギーの有効活用の推進
  - ② 事業に関連する全ての化学物質の種類、量、取扱い方法の把握と適切な対応
  - ③ 特殊ガス製造工程におけるガスの有効活用及び廃棄物排出量の低減
  - ④ 緊急時における環境影響を配慮した対応
  - ⑤ コンフリクトミネラルに関する理解と対応
4. 教育訓練・啓発及び日常の環境活動を通じて、従業員の環境への意識を高めるとともに、広い視野からの環境活動に取り組み、社会に貢献する。

2025年4月1日

大陽日酸 JFP 株式会社

代表取締役社長 神邊 貴史